

ほっと一息通信

こんにちは。子供のころ、親父に竹でスキーを作ってもらって滑っていた上野邦雄です。

昔は各家に竹やぶがあり、親父が孟宗竹（もうそうちく）を切って3センチほどの幅に割って4枚



ほっと通信を書いているところ

ほど並べて板に張りつけて滑っていた記憶があります。本物のスキーのようにすべりが

よくなかったのです

けど、とても楽しかったです。

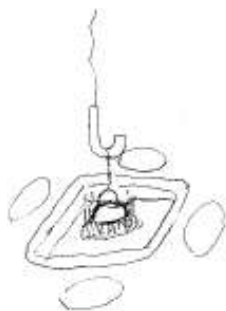
その後、市販のスキーを買ってもらってスベリを良くするためにロウ（パラフィン）を囲炉裏の火にあぶってスキーに塗っていたものです。

そのときのロウの匂いが頭に残っていて今でもロウソクのロウの匂いをかぐと懐かしい気持ちになります。

懐かしいと言えばもうひとつ私は火の匂いが大好きです。子供のころから囲炉裏の火や、近所や親戚の家を建て直すときの解体した材木を庭で燃やしていた時代ですので、そのときの匂いが体に染み付いているのか分かりませんが本当に懐かしく安心と言うか気持ちが落ち着きます。

こんなことを書くと「こいつ危ないやつ」と思わないで下さい。（笑）

今は家の前の田んぼでたまに紙くずやダンボールの箱などを燃やしていますが、やはり材木の燃える匂が一番いいですね。いつか私の家に蒔きストーブを置きたいと思っています。話がだんだん火のほうにそれていきまし



たが、大工小屋にある簡単な蒔きストーブあれが一番暖かいのですが、あれは住宅の中では駄目ですけど。「薪をくべる」この言葉だけでも気持ちが落ち着きます。いやー薪の火って本当にいいですね。（笑）

花粉が飛ぶ季節です。どうぞ対策を。*ふえーっしょん!*

畳屋さんの話

私共が今、工事している自然素材のみの家に入れる畳について、畳屋さんに藁床（わらどこ）の畳の内容について打ち合わせをしていて畳屋さんから聞いた話です。

私とその畳屋さんに前にも藁床仕様の畳を注文しましたところ、出来上がった畳は、裏側にビニールのシートが張ってあって湿気を止めるようになっていました。

これはもうどこの畳屋さんのたたみも100%ビニールシートを張る作り方になっていると思います。私はまさか藁床の畳の裏にもビニールシートが張ってあるとは思いませんでした。

そこで畳屋さんに

私「この前の藁床の畳の裏にビニールシートが張ってあったがやけど何でなが？」

畳屋さん「ビニールシートを張らないと湿気で藁が腐って来てボサボサになりますから。」

私「藁床にビニールシートを張ったら藁床の意味がないがでないがけ。」

ここから畳屋さんの体験談

畳屋さん「昔は全て藁床の畳ばかりでしたが、今は断熱材入りの軽いダイケン畳ばかりです。だいぶ前に新築の住宅に藁床の畳を納めてからある日、建築屋さんから電話があり、見に来いということ言ってみたら和室のテーブルの上が砂でもまいたように白くなっていて、近づくときとなく

なりホコリや砂ではなく、ダニでした。」畳屋さんはそんな現場がいくつも出てきて大変な量の畳を作り替えたそうです。それから作り変えた畳が殺虫剤入ボードと断熱材で出来ているダイケン畳です。

そこで私は殺虫剤が無く、湿気も吸ったり吐いたりしてくれる昔ながらの安全な藁床を使用したビニールの変わりに湿気を通す布にしてもらって、そして



わらの間にセルローズファイバーを入れてわら床を作っているところ

藁床の中に自然素材断熱材（セルローズファイバー）を入れてもらったウエノ建設オリ

ジナルな畳を作ってもらいました。

これを今度の自然素材の家に納めさせてもらいました。

これで湿気が自由に行き来できて、殺虫剤の成分も無い、安心の部屋ができました。

またまた宣伝になってしまいました。（笑）

ぼたもちとおはぎ

今日は春分の日（彼岸）で、妻は仏壇に供えるおはぎを買いに朝の早くからあわただしく、いつもの餅屋さんに走りました。

子供のころは母親がもち米で作っていましたが、今では餅屋さんです。（笑）

私は昔からぼたもちやおはぎのような品の良い呼び方ではなく、「かიმოつ」と呼んで今のような小さなものではなく、母親の作るかიმოつは餅屋さんの2倍ぐらいの大きさだった記憶がします。

それを子供のとき3個ぐらい食べていました。その後、食事にご飯を3杯食べていたものです。そして腹いっぱいになって動けなくなって横になっていると、「食べた後すぐ横になると牛になってしもうぞ」とよく言われました。（笑）

その割にはぜんぜん太らなく骨と皮だけでした。

（笑）

私は餅腹とご飯腹は別やと今も思っています。が、何年か前に生活習慣病になってからは考え方が180度変わりました。仕方なし変えたのです。（笑）



ところでぼたもちとおはぎはどう違うの

か分かりませんでしたが、調べてみて分かりました。結論から言いますと、春の彼岸はぼたもちで秋の彼岸はおはぎだそうです。ひっくり返すの通称は「ぼたもち」だそうです。

春はぼたんの花から「牡丹餅」で秋は萩の花から「おはぎ」で牡丹餅は大きくて、おはぎは花が小さいので小さめだそうです。お彼岸に備える餅も季節によって呼び方が違うなんて知りませんでした。

でもやっぱり美味しいですね。（笑）

安らぎを感じるお宅です

今回ご紹介するのは高岡市城東にお住まいの浦田隆志様ご夫妻です。

浦田様とは長いお付き合いをさせていただいております



浦田様には増築や外壁リフォーム等もう何回もお仕事をさせていただいております。

浦田様ご夫妻

と私共の関係はどちらがお客様か分からないほど親切丁寧に対応してくださり、そして気さくで、お邪魔しますと安らぎを感じます。お二人ともとても教養がおありで、だんな様が静で奥様が動な感じて奥様は定年後も教育界の事で活躍されています。今回も北側の押入に白蟻被害があり、改修させていただきました。浦田様本当にありがとうございました。

またお邪魔虫させてください。（笑）よろしく願います。

遅れましたが、今年も一生懸命良い仕事をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。上野邦雄